

「食」に重点をおき、発達段階を考慮して、「食」の理論学習を第2学年に配置



第1学年

Table for 1st grade curriculum. Columns: 学習内容 (Learning Content), 時間数 (Time), 学習活動 (Learning Activities). Rows include: 家庭分野ガイダンス, A 家族・家庭と子どもの成長, B 食生活と自立, C 衣生活・住生活と自立.

第2学年

Table for 2nd grade curriculum. Columns: 学習内容 (Learning Content), 時間数 (Time), 学習活動 (Learning Activities). Rows include: B 食生活と自立, A 家族・家庭と子どもの成長, 第3学年 (3rd grade), D 身近な消費生活と環境, A 家族・家庭と子どもの成長.

技術・家庭 家庭分野 3年間を見通した年間指導計画案 例⑦

—— 「食」に重点をおき，発達段階を考慮して「食」の理論学習を第2学年に配置——

週(時)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
1年 35時間	A 家族・家庭と子どもの成長				B 食生活と自立										C 衣生活・住生活と自立																				
															1 自分らしく着る・快適に着る					3 生活を豊かにする物をつくる					2 快適に住まう										
	これまでの自分				おいしく健康によい食品を選ぼう										衣生活の自立をめざそう																				
	家庭分野ガイダンス	これまでの自分	支えてくれた人ひと	家族と家庭のはたらき	呼び覚ませ！ 味覚	生鮮食品の選び方	加工食品の選び方	地域の食文化を探ろう	衣服のはたらき	自分らしく着よう	既製服を選ぼう	日常着の手入れ	衣服の4Rを考えよう	生活を豊かにする小物をつくらう	スナックつけ・補修の技術を利用した実習	住まいの役割	快適な住まい	変わる？住まいの空間	エコハウジングを考えよう																
授業時数	1	1	1	1	2	2	4	2	1	1	1	4	1	7	1	2	1	2																	
学習指導要領	A(1)ア	A(1)ア		A(2)ア	B(1)ア	B(2)ウ	B(2)ウ		B(3)イ	C(1)ア	C(1)イ	C(1)ウ		D(2)ア	C(1)ウ(3)アイ					C(2)ア	C(2)イ	C(2)ア	C(2)アイ、D(2)ア												
教科書該当頁	11~15	16~25			108	88~99			134~139	148~173					166~167,188~199,250~252					174~187,204~205,252~253															
2年 35時間	B 食生活と自立										A 家族・家庭と子どもの成長																								
	食生活の自立をめざそう										幼児の生活と家族																								
	食事の役割	栄養素のはたらき			五大栄養素 ・水と食物繊維 ・スポーツドリンクをつくらう	食品と栄養素との関係	何をどれだけ食べたらいいだろう	弁当箱をスケールにして	食中毒に注意！	包丁に慣れる／テスト	調理をしよう ・肉の調理 ・魚の調理 ・日本型食生活 ・野菜の調理	幼児を知ろう	幼児の心身の発達	伝承遊び実習 地域の高齢者による	幼児を招いてふれ合い体験	子どもと環境	赤ちゃんポスト デイベイト																		
	授業時数	1	6			1	5	1	1	8	1	3	2	3	1	2																			
学習指導要領	B(1)ア	B(1)イ			B(2)ア	B(2)アイ		B(3)ア					A(3)ア	A(3)アイ	A(3)イ	A(3)ウ	A(3)ア	A(3)ア																	
教科書該当頁	68~71	72~87,130~131,142~145			102~107	102~129					28~55																								
3年 17・5時間	D 身近な消費生活と環境					A 家族・家庭と子どもの成長										まとめ																			
	賢い消費者をめざそう					持続可能な社会をめざそう					これからの自分と家族																								
	物資とサービス	販売方法と支払い方法	悪質商法(視聴覚教材)	トラブルへの対処法	消費者の権利と責任	めざそう グリーンコンシューマー	めざそう サステイナブル・ライフ	家庭生活と地域	家族とのかかわり	コミュニケーション	これからの自分																								
	授業時数	1	1	1	1	1	3	4	2	1	1	1	0.5																						
学習指導要領	D(1)イ				D(1)ア	D(2)ア	D(2)ア		A(2)ア	A(2)イ																									
教科書該当頁	206~225				226~237,129,138~140,170~173,221	26~27,58~59,62~64																													

・「食」に重点をおき，発達段階を考慮して，栄養素のはたらきや献立学習などの理論学習を第2学年で扱うようにしました。また，味覚の学習を「食」内容の最初に位置づけ，食品や味，食生活に関心をもって学習に取り組めるようにしました。

・「D 身近な消費生活と環境」は，内容 A・B・C の題材と関連させ，実践的学習になるようにしました。

・「生活の課題と実践」については，1年の夏休みには「地域の食材・郷土料理調べ」，2年の夏休みには「マイ・ベスト弁当に挑戦」といづれも〔B(3)ウ〕を想定しています。  
どちらかを〔A(3)エ〕(p.241~245) または〔C(3)イ〕(p.250~253) とすることも考えられます。

・この年間指導計画案の具体的な学習指導案は裏面に掲載しています。